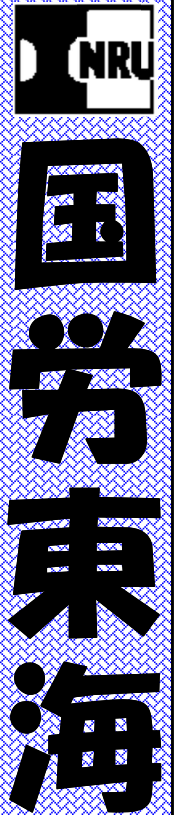


13春闘

組織拡大・職場闘争を

第32回東海本部委員会で16人が発言



国鉄労働組合 東海エリア本部 東京都港区新橋5-15-15 交通ビル4階 発行責任者 渡邊良成 編集責任者 高木宏

2月2日、第32回東海本部委員会を開催しました。委員は、「13春闘を、賃上げや労働条件の改善をめざし、職場から闘うことで組織拡大を行いたい」などと発言しました。委員の発言を要約しました。(要約は、教宣部。発言順、敬称略)

委員の発言



桐生 勝

(新幹線・車両) 13春闘で職場

要求アンケートの100%回収や全組合員の統一行動参加をめざす。就業検査で、仕事は変わらず人だけが減るのは納得がいかない。組織拡大は、個々人の取り組みから分会全体へと広げ、拡大の基盤を作る。脱退者を出さないことも重要。JAL闘争の支援の輪を広げたい。



栗田 浩

(新幹線・保線) 職場3大要求で

アンケートを行い、組合員の意見を反映した要求を作り、現場長とのコミュニケーションを生



遠藤 邦彦

かす。若手に「国労に入れ」と話す。主任になってから「自分一人では」との返事が来る。声をかけて直ぐに入れる環境作りが必要。安倍政権の悪政を組合員全体で話せるようにし春闘を闘いたい。

(新幹線・電気) トンネル天井の

検査は、ボルトやナットの目視

と打音の検査ですが、レーザー等の非破壊検査が必要。会社に「天井部の電気設備のボルトの

分析」「科学的検査」「取替管

理(寿命)の明示」等の申し入

れを。組織拡大より組織強化の方

田中 康夫



(新幹線・電気) 繰り上げ4型勤



本望 昭弘

務が本来の主旨と違って月に何回も導入され、前日に公休を特休に変えての導入されている。労基署への申告を視野に入れた取り組みをすべき。国鉄時代の保全・取替手順・地落対策の各マニュアルがないのは問題。主任がいらない職場もあり、主任になれる人もいない。国労以外でも多数が昇進試験に合格しないので調査をすべき。また、国労からユニオンに行った人にも声をかける必要がある。

(新幹線・保線) 電気職場の繰り

上げ4型勤務で1週間に5連続の夜勤は、労働協約や労基法に違反では。施設でも脱防、マルチ更替で変形4・5・5の勤務が提案されている。勤務が組めないことを理由に繰り上げ4型が導入される職場もあり、調査し改善を求めたい。



後瀧 直也

(新幹線・運輸) 乗務員職場の組

織の強化・拡大について、若手と一緒に乗務する時に話すが「国労に入れ」と言っていないので奮闘する。N700A系の



森 一隆

緊急通報装置の扱いが複雑でわかりにくい。JAL解雇撤回の支援で署名や物販を取り組む。

(新幹線・駅) 13春闘の統一行動には、全組合員の参加をめざす。戦前の日本に戻す安倍政権と対峙し、経済闘争と政治闘争の結合が重要。B787機のト



片畑 清

(新幹線・保線) 春闘で3大要求

を作り、現場長との話し合いを行い、その後に統一行動の予定。災害や台風の警備、地震時の対応改善で、特に台風時の水位観測は「危険な所には行かない」ようにすべき。安全問題で、徐行手配を取らずに軌道内立ち入りもある。耐震工事やPC枕木更替が増え、要員等の改善を。退職年齢になると20歳代と同じ仕事に不安があり、仕事の分担が必要である。

(2面に続く)

入院、地震、火災、交通事故... 一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかりと組み合わせて幅広く保障します。



火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

東海本部第32回委員会

委員の発言



神田 茂樹 (静岡・運輸) 特殊勤務手当

支給の問題で地本とも相談し、現場長に支給を求めたが、逆に戻りとなったことから、給与と明細書に手当の内訳を明確にすべき。若手社員に「国労に入れ」と働きかけている。全力を挙げて奮闘する。



武藤 豊治 (静岡・運輸) 御殿場線の無人化が進み無人化反対のビラ配布宣伝行動を行った。今後、ワンマン列車や特改行路を問題にする。車掌は3徹買上げが当たり前で、運転事故や速度超過事故も増えている。貨物の拡大が刺激になり、職場3大要求を通じて若手社員



小川 敏広 (静岡・貨物) 昨年2人の組織拡大があった。しかし、拡大の勢いがなくなった感じが

あり、再度引き締めてレク等を通じて分会全体で組織拡大を取り組めるようにする。春闘では、貨物会社と旅客会社に格差があり、賃金格差の解消を求める。



小海 誠 (静岡・出向) 支部会議で

職場改善の報告などが出るようになり活性化している。岳南鉄道の子会社化で出向先の労働条件が悪化している。貨物の国労加入者は「会社の姿勢を変えたい」と決意を述べました。東海会社で子弟やスポーツ採用が多い中で、カベを乗り越えて「悪いことは悪い」と言える職場と仲間づくりをすすめる。パワハラや解雇撤回等で地域の闘いとも連帯している。



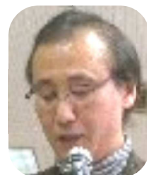
浜島 由紀夫 (名古屋・保線) 分機器の検査

作業90分を60分での輸送指令の指示は、事故防止のために間合いが必要。また、中間見張り員の委託は、触車事故防止の観点から交渉を。地域で、春闘やメーカー、格差反



大金 健治 (名古屋・貨物) 3月4日に

春闘学習会と新規加入者の歓迎会を行います。貨物本社社長への要請書を取り組んでいる。稲沢では安全と設備、環境問題でアンケートを取り組み、各職場で署名を取り組み、他労組を含めて職場の60%が署名をしました。この流れを組織拡大に結び付けたい。



亀井 和弘 (名古屋・駅) 安全・サー

ビスの問題について、飯田線のワンマン化、駅無人化が進んでいる。駅無人化反対のビラ配布行動を取り組んできた。会社は「廃止ではなく、駅を守るための無人化」と言っているが、駅の無人化をやめさせるために関係する地本と共に奮闘する。



木下 淳治 (名古屋・駅) 国労に加入し

た専任社員がユニオンに戻りかけたが、国労に残った。ユニオン役員は波及しないように専任社員の聞き取り調査を行っている。「最後は国労で」と言う人は多く、若手だけでなく先輩にも国労加入を訴える。リニアは、建設費、電磁波、フォッサマグナを通るトンネル問題のほか、中津川リニア駅建設で自治体負担など問題がある。東海本部が率先して勉強と検証をすべき。

書記長集約

上野書記長は、委員からの発言を受け、次のように集約しました。

国労の最大の課題である組織拡大をいかに組合員全員が総力を挙げて取り組み、目標としている組織拡大をなし得るのが重要。拡大に向けた取り組みを個から組織へと、自分の職場は特別で組織拡大はできないという言い訳を払拭することが必要であるとし

ました。

職場から要求を獲得していく闘いを作ることが重要であるとし、「今春闘でもやはり職場でどう要求を勝ち取るのか、どのように取り組むのか、他労組をどのように巻き込むのかが問われている。その運動を追求する中で組織拡大をめざす」としました。さらに、JRの会社間格差、JR関連企業の労働者との格差の解消に向けて、「非正規や契約社員、出向者の労働条件を改善し、全労働者を巻き込んだ運動」と強調しました。

13春闘の賃上げは、「労働者・国民の生活をはじめ、経済の活性化という大きな課題がある。労働者が連帯し、『なんとしても賃上げを』という決意でストライキを視野に入れて、13春闘を闘おう」と訴えるとともに、JALや社保庁への攻撃などの派遣切りや大量リストラは「断じて許せない行為であり、人を人として扱わない企業や資本と闘い、労働者の雇用と権利を守る闘いを、国労が先頭になつて進めよう」と集約しました。

「がん」の保障 <生きるためのがん保険Days(デイズ)>
「生きる」を創る。Aflac
保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢:0歳~80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合
初めて診断確定されたとき がんの場合 一時金として100万円
診断給付金 上皮内新生物の場合 一時金として10万円
入院したとき 入院給付金 1日につき 10,000円
通院したとき 通院給付金 1日につき 10,000円
手術したとき 手術治療給付金 1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき 放射線治療給付金 1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき 抗がん剤治療を受けた月ごとに 10万円 (すべての保険期間を通じて通算600万円まで)
乳がん・前立腺がんのホルモン療法の際 5万円
プレミアムサポート 訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)
Aflac がん保険 Days(デイズ) スタンダードプラン
◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)
入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料
払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)
3.5歳 4.5歳 5.5歳 6.5歳
男性 3,656円 5,608円 9,360円 15,190円
女性 3,734円 5,274円 6,864円 9,048円
<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。
<募集代理店> アベニール株式会社 AF007-2011-0186 4月25日
TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル3F
<引受保険会社> アフラック 東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95